

こおりやま文学の森資料館において
寄附を受納いたします



ターゲット 4.7

令和元年 11 月 1 日
郡山市文化スポーツ部
文化振興課
担当：齋藤 利徳
TEL：924-2661

SDGs ターゲット 4.7 「持続可能な開発を促進するために必要な知識を習得できるようにする」

寺田ツル様から、こおりやま文学の森資料館へ「寺田弘氏関係資料」の寄附の申し出をいただきましたので、寄附受納及び感謝状の贈呈をいたします。

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 1 日 時 | 11 月 7 日(木) 午前 11 時 30 分 |
| 2 場 所 | 郡山市こおりやま文学の森資料館 |
| 3 寄 附 者 | 寺田 ツル 様 (故 寺田 弘 氏の配偶者) |
| 4 寄 附 物 品 | 別添「寄贈資料目録」のとおり |
| 5 代理出席者 | 古宮 敬子 様
古宮 滋 様
寺田 秀夫 様 |
| 6 対 応 | 郡山市長 |

<寺田 弘 氏略歴>

1914(大正 3)年、安積郡三和村富岡(現・郡山市三穂田町富岡)生まれ。明治大学を卒業後、文部省に入省し、多くの文化人と知り合う中で、高村光太郎とも深い付き合いを続けられました。

戦後の混迷の中で「詩の朗読研究会」を設立するなど、詩壇の復興に尽力し、「詩の朗読運動」は特筆すべき業績として知られています。

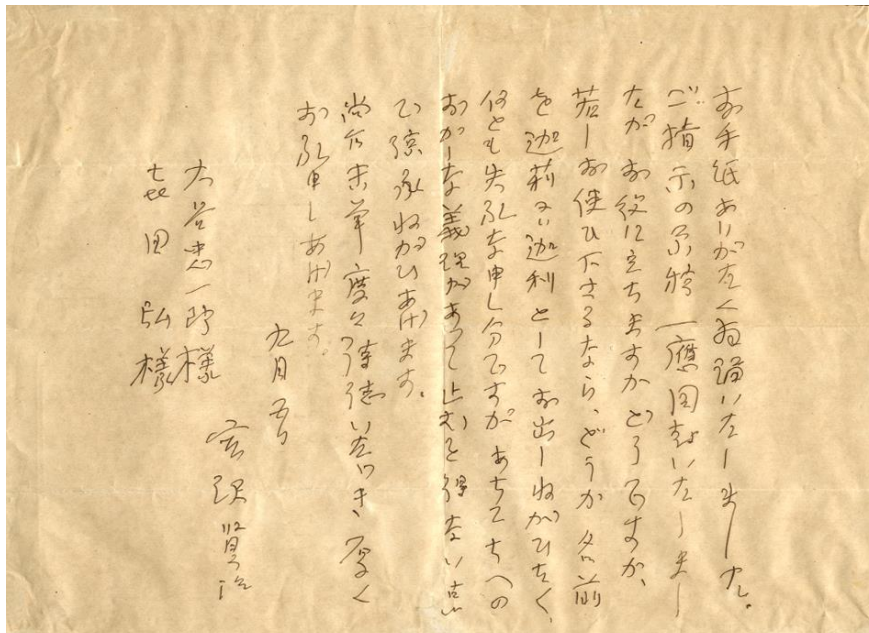
1984(昭和 59)年春の叙勲で勲四等旭日小綬賞、2009(平成 21)年に福島県外在住功労者知事表彰を授賞。2013(平成 25)年 3 月 7 日、98 歳で永眠。

<寄附の趣旨等>

こおりやま文学の森資料館に展示し、広く市民の皆様にご覧いただきたいとのご意向により、寄附の申し出をいただいたものです。

寄贈資料目録

宮澤賢治書簡	1点（寺田弘・大谷忠一郎宛（昭和8年））
高村光太郎掛軸	1点
寺田弘宛書簡	9点（上林猷夫、宮澤清六など）
寺田弘 原稿	42点（詩稿「阿武隈河畔にて」など）
寺田弘 詩集	2冊（『骨』『傷痕軍人詩集』）
色 紙	4点（寺田弘・三好達治・宮澤清六など）
書 籍	95冊（草野心平・井上靖 献呈署名本など）
雑 誌	82冊（『独楽』『北方詩人』など）
落 款	1点（「独楽の会」）
印刷物	19点（「詩の朗読研究会 会報」など）
自筆文書	1点（「詩の朗読研究会記録」）
芳名帳	5冊（「故園の書出版記念」芳名帳など）
写 真	144枚（寺田弘肖像写真 高村光太郎肖像写真など）
新聞・切抜	3点（「詩壇時報No.18」など）
水彩原画	18枚（寺田幸三（寺田弘実弟）。表紙原画「詩誌 独楽」など）
その他	24点（カセットテープ20本、CD3枚 宮澤賢治複製手帳1冊）



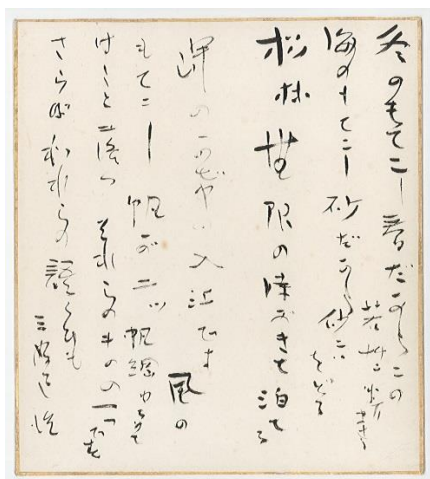
宮澤賢治 寺田弘・大谷忠一郎宛書簡（昭和8年）



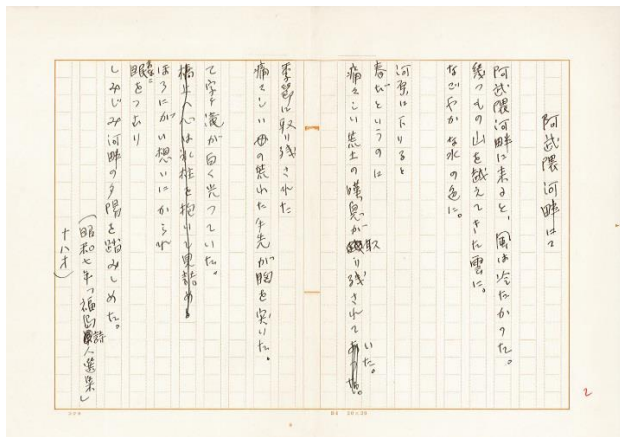
寺田弘発行『独楽』



写真「高村光太郎」(寺田弘撮影)



三好達治 色紙



寺田弘 原稿「阿武隈河畔にて」